



発行 特定非営利活動法人 NPOぽぽハウス
〒522-0043 彦根市小泉町 300-9 サンロードビル 2F
(TEL)0749-27-9777, 21-0664 (FAX)27-9888
E-mail popohouse@nifty.com

あったかファミリーステーション“ぽぽハウス”を開所して早や四年目の今年。高齢者、障がい者(児)、子どもとあらゆる世代が、共に寄り添い、お互いを認め慈しみあえる場所にとの思いで走って活動してきた。この間、介護保険制度の改正、障害者支援費制度の施行・改正等現場のニーズと社会制度への理解と矛盾の狭間で、只々毎日があつという間に過ぎ去っていった。しなければならない目の前の事は、減ることはない。果たして我々の求める方向に進められてきたのか...そんな思いの中、NPOぽぽハウスの今年度総会では前号にふれたように“もう一度足元を見つめ直す”事を私たちの今年度のテーマとした。それは例えば自分が荷物で両手が塞がっていても、転びかけた人には、優しく手を差しのべ、顔見知りでなくても無邪気に挨拶の声がけをする子ども達に慈しみのまなざしを向け、関わる人たち皆に笑顔で応えることである。この事は事業や制度に拘束されることなく、出来ることなのだから、今一度、会員、職員それぞれがあらためてNPOぽぽハウスのミッションの自覚を持ち『自分も大切にされる街づくり』も視野に入れ、“ぽぽハウス”が発信地、拠点となるよう構築していかなければ...と“あったかファミリーステーションぽぽハウス”の社会的な役割、使命を児童デイの生き生きと遊ぶ姿を眺めながら感じている。

施設長 福井

【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽだより

2007年 7月号



彦根市南中学校交生
職場体験

高齢者から浴衣を着付けてもらい...



披露するフエの練習にキッズの子どもも参加して

今年もにぎやかな
笹飾りになりました



笹飾りの前で浴衣撮影会

短冊に願いをこめて!



さすが！
手早くお召しかえ



児童デイ
粘土を
こねこね

今年も
やります!!

第2回 ほおッピーまつり

今年のテーマは

“みんな いっしょに!!”



開催日時 2007年8月25日(土)

10:00~15:00

開催場所 彦根市

北老人福祉センター
(ハピネスひこね)

対象 ぽぽハウス利用者
ハピネスひこね利用者
一般の方(近隣住民)

『ステージ』予定

10:30~11:30、13:30~15:00

みんないっしょに歌おう!

みんないっしょに踊ろう!

まねまねコンテスト(歌・形態模写 etc...自由)

『販売コーナー』(予定)

牛めし・パウンドケーキ

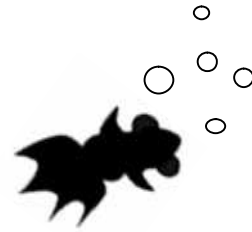
クッキー・コーヒー・ジュース

ひこにゃんグッズ

『ゲームコーナー』(予定)



児童デイに関わって



5月から入った新入職員です。児童デイに関わって3ヶ月がたちました。最初は子ども達も私もお互いに「どんな人だろう」と探りながらの日々でした。まだ幼稚園や小学校低学年の子ども達は興味を持って近寄っている事を聞いてきたりしてくれました。高学年の子が居て、その子は様子をうかがってるのか、なかなか話してくれませんでした。でもある日の公園でのでき事がきっかけで、その時に真剣に子どもに向き合いました。その事がきっかけとなって、すごく仲良くなることができました。今では男子達と一緒に、格闘ごっこをしたり、野球をしたりして遊んでいます。

児童デイの子ども達はみんな元気でおもしろく、一緒に遊んでいても楽しいです。もうすぐ夏休み。にぎやかな毎日になると思います。いろいろな子ども達と会えるのがほんとうに楽しみです。



ぽぼひろば 押谷

すくすく教室・のびのび教室 が始まりました!!

今年度も、南地区公民館ですくすく教室・のびのび教室が始まりました。

0～2歳のすくすく教室では、4ヶ月からの親子の参加があります。初めての子育てに不安そうな表情も見られますが、月齢の近い子をもつお母さんとのフリートークなどで、情報を交換しあい、困っている事を話す事でだんだん表情がやわらいでいっています。

2～4歳ののびのび教室では、元気な子ども達が走りまわっています。親子でふれ合う事もたくさんしてもらっています。

すくすく教室・のびのび教室共に、全10講座の中で、栄養士や保健師のお話の他、親子のスキンシップや親同士のつながりも意識して、楽しく子育てしてもらえようような内容を提供していきたいと思っています。

子育て支援部 酒井

私にとってのボランティア

今年4月に京都から越して来てNPOぽぼハウスのボランティア活動に参加させてもらったのが、5月半ば頃から私にとって何もかもが初めての経験でした。こちらにいられている、高齢者の方、子ども達皆さん笑顔で接してくださり、時には、昔話を面白おかしく懐かしく話しかけてくださったり、時には子どもの頃に戻られたような優しい表情にとても心なごみます。これからますます高齢者社会になっていく時代、いつかは自分自身も！今、私達にできることは何でしょうか。ちょっとした挨拶、声かけて小さな事だけでもとても大切な心のふれあいがあってはじめて人間らしく生きていくことが出来る。あたりまえのことだけど改めてお年寄りの方々とのふれあいの中で教えられたように感じています。これからも出来る範囲で皆さんと一緒に楽しいひとときを過ごしていただけるようお手伝いできればと思っています。

ボランティア 斉藤

ある日のぽぼハウスでは...



デイのみんなと体操

ぽぼひろばにて、
ぽぼクラブちゅーりっぷ組
『あつまれ3歳児!!第2回』
が開催されました。



親子で「なべなべそこめけ」